

経済指標ウォッチャー

米国雇用統計 コロナ感染急増で8ヵ月ぶりに雇用者数が減少

ワクチン普及が遅れば厳しい雇用環境が続く可能性も

米国雇用統計とは？

米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月第1金曜日に公表される。

米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

非農業部門雇用者数は前月比で再び減少へ

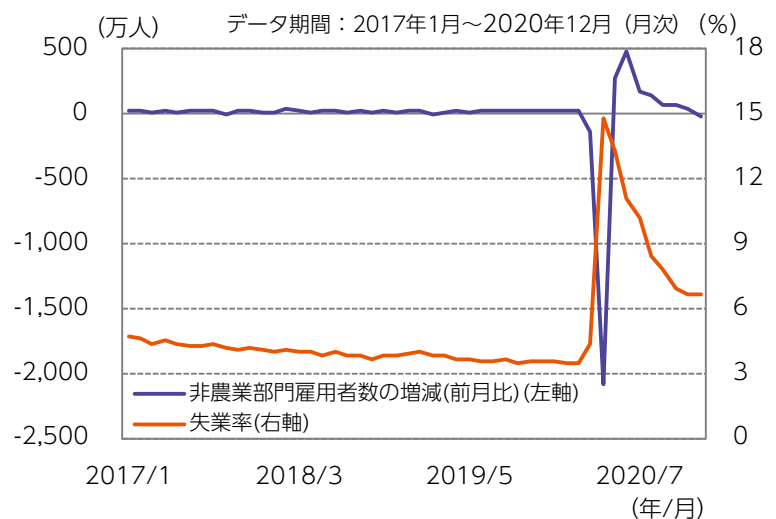
1月8日に米国労働省が公表した2020年12月の雇用統計は、失業率は6.7%と前月から横ばいとなったものの、非農業部門雇用者数が前月比14.0万人減となりました。新型コロナウイルス感染が拡大していた2020年4月以来の前月比マイナスで、事前予想（同5.0万人増）も下回りました。2020年11月以降新規感染者数が急増しており、飲食等のサービス業を中心とした一時解雇等による雇用者数の減少が影響したものと見られます（図表1）。

ワクチンの普及次第で厳しい環境が続くことも

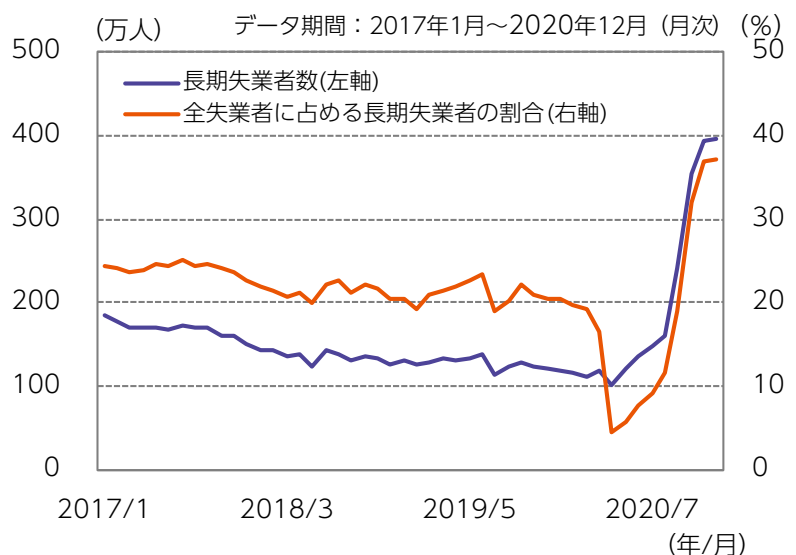
新型コロナウイルスが猛威を振るった2020年通年の雇用者数は前年比937.4万人減となりました。リーマンショック後の2009年(同505.1万人減)以来のマイナスです。失業期間が27週間以上になる長期失業者も12月に2.7万人増えて395.6万人と約7年ぶりの高水準となっています。失業者全体に占める長期失業者の割合は約4割となっており、困難な職探しの状況がうかがえます(図表2)。

足元の新規感染者数は高水準で推移しているものの、開始されたワクチン接種や、2020年末に成立した追加経済対策、バイデン次期大統領が検討しているさらなる景気刺激策により、雇用環境も改善していくとの見方が市場では大勢を占めています。しかし、ワクチン接種は当初計画よりも遅れており、感染者数抑制に時間を要した場合には、厳しい雇用環境が継続することが想定されます。

図表1：非農業部門雇用者数の増減と失業率



図表2：長期失業者数と全体に占める割合



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>